

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	泉州国際市民マラソン事業					②事業番号	7627
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 6 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称 泉州国際市民マラソン実行委員会会則
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	2	細目 3
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
教育部	生涯学習課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 関係市町	① 関係市町数	団体
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
KIX泉州国際マラソンの開催に伴い、泉南市として、マラソン事務局への職員派遣、マラソンボランティアの確保及びボランティアに対しての地元説明会を開催する。	① 泉南市開催の説明会の回数	回
	② 泉南市のボランティアの数	人
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
関西国際空港の地元9市4町による広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として、フルマラソン大会を実施し、泉州地域のスポーツ及び文化の振興を図る。	① マラソン参加者数	人
	② 計算式	
	② 泉南市でのボランティアの配置ポイント	箇所
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
地域住民のスポーツレクリエーション活動の場の機会を与える。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	関係市町数	団体	13	13	13	—	—	H30から開催主体事務局が観光部局に変更になったため本事業評価はR1から開催主体事務局で行う。
対象指標②								
活動指標①	泉南市開催の説明会の回数	回	1	1	1	—	—	
活動指標②	泉南市のボランティアの数	人	122	120	122	—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
活動指標③								
成果指標①	マラソン参加者数	人	5,270	5,499	6,206	—	—	
成果指標②	泉南市でのボランティアの配置ポイント	箇所	21	19	19	—	—	H30から開催主体事務局が観光部局に変更になったため本事業評価はR1から開催主体事務局で行う。
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.21	0.21	0.15			
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.02			
	臨時職員	人	1.00	1.00	0.00			
	事業費	千円	3,363	3,321	1,282			
	直接事業費	千円	4,410	4,516	10			
財源内訳	総事業費	千円	7,773	7,837	1,292			H30から開催主体事務局が観光部局に変更になったため本事業評価はR1から開催主体事務局で行う。
	国庫支出金	千円	0	0	0			
	府支出金	千円	0	0	0			
	受益者負担金	千円	0	0	0			
	その他特定財源	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	7,773	7,837	1,292			

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	関西国際空港の地元9市4町による広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として、フルマラソン大会を実施し、泉州地域のスポーツ及び文化の振興を図る。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	近年のマラソンブームで毎年マラソン応募者が殺到し、毎年大会当日はマラソン大会沿道では大盛況である。このように地域の活性化には大きく貢献していると思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	地域の活性化及びスポーツの推進に大きく貢献している。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	フルマラソン大会開催は泉州地域全体の活性化となっており、他の泉州地域の自治体との連携としても、必要な事業であると思われる。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	地元9市4町で実施しており適切である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	泉州地域全体の活性化という観点からは影響はあると思われる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	ボランティア等の協力により、安全に事故なく実施できている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	マラソンコースを変更する等変化をつけることで成果向上が期待される。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	開催主体事務局が変更になったため評価主体の変更が可能である。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市単独の事業ではないのでコストを下げることは難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	既にマラソン大会参加者から参加費を徴収している。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当
	C	H30から開催主体事務局が観光部局に変更になったため本事業評価は開催主体事務局で行い、関連する予算は他事業へ統合する。	B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			H30から開催主体事務局が観光部局に変更になったため本事業評価は開催主体事務局で行い、関連する予算は他事業へ統合する。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			開催主体事務局との綿密な調整業務。		